

初版禅籍目録序文

緒言

編纂の動機

大正二年九月不肖就職するや、本学図書館をして権威ある禅宗研究所たらしめんと企図せり。而も当時蔵書僅少にして図書館の名に添はず、補充せんにも標準とすべき書籍目録なし。茲を以て、本書編纂を企て、禅宗研究に資するものは能ふ限り之を渉獵編録し、当該書誌の蒐集に便せしめんとせり。

編纂の動機前述の如し。従って其蒐集の範囲も広範なり。所謂禅書に限らず、苟も其書名内容にして禅宗研究に資するものは、古今を論ぜず、真偽良否を択ばず、刊本写本の別を問わず、悉く之を採録せしめたり。これ広義の禅宗研究に資するの日必ず来るべきを信ぜるが為なり。著者名目録、分類目録、並に禅籍改題の編纂は第二期の事業として他日斯学研究者を首肯せしむるの期あるべし。

編纂の経過

計画は大正二年なれども、着手せるは大正八年佐藤泰舜氏図書掛の時に始まる。而も当時は館員僅一名にして、到底事業を進捗するの余裕なく、大正九年小川靈道氏これを継承し、大正十三年佐々木秀幸氏主として之に当り、大正十五年米本堅瑞氏訂正増補之を纏む。小川氏は書名の蒐集編纂に就て其間絶へず両氏を援助せり。

出版の理由

本書に採録せる書名少からざれども、決して是に尽きたるにあらず。遺漏更に倍加するものあるや知るべからず。特に洋書に至りては渉獵充分ならざるの感あり。これ洋書中には禅を主題とせるもの極めて尠なく、検索の易からざるに由る。然るに今未定稿の儘出版せし所以は、(一)之れ以上蒐集をなすに要する人員資力の余裕なきこと。(二)公表によって当該書誌蒐集の手掛りを得易きこと。(三)江湖諸賢の補正を得て本書の完成を促進するに便なること等を認めたるが為にして、此事業完成の手段に過ぎず。

感謝

本書出版に際し謝意を表すべきは

- 一、本書校閲者忽滑谷快天学長、立花俊道教授。
- 二、曹洞宗教育財団理事会の諒解。
- 三、本学教授林家友次郎氏の出版補助。
- 四、書名蒐集に同情便宜を与へられし、岸沢惟安師、石井光雄、山本悦心、森大狂諸氏、並に各文庫図書館、一般寺院在俗諸賢。
- 五、館員小川、佐々木、米本、三氏の犠牲的努力等なり。

希望

本書閲覧者の好意に訴へたきもの

- 一、本書目に漏れたる書名並に正誤等ありし場合は、本館に通知せられたきこと。
- 二、通知に際しては、本書目の記入事項に該当する記事並に参考となるべき事項を詳細に教示せられたきこと。
- 三、禅籍所蔵の個人、図書館、寺院等を通知せられたきこと。
- 四、本館未蔵書（×印）を所有せらるゝ方は、寄贈、貸与、又は譲渡しを得たきこと。

昭和三年一月

駒澤大学図書館長 高田儀光

（『禅籍目録』、駒澤大学図書館、昭和三年二月十一日印刷、昭和三年二月十五日発行、一頁～四頁）

※原文旧字体は常用漢字の字体に変換して入力しました。